北海商科大学　講義概要（シラバス）

2019年度

科目名	特殊講義Ⅱ（日本古典文学の風景）	科目コード	1549	単位数	2
担当者名	保坂　智	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次

授業のねらい

日本文学や日本文化に深い影響を与えている『源氏物語』を読解することで、当時の制度や考え方を理解するとともに、現代日本あるいは他国の価値観を相対化して、新たな価値の創出につなげる。人間形成のための幅広い教養を身につける。

到達目標

・『源氏物語』のあらすじ、文学史的意義を理解し、文学として読むことができる。
・日本文化の基礎ともなっている制度や事象を説明できる。
・東アジア的ひろがりの中で、『源氏物語』が成立したことを理解する。

授業内容

1週目 ガイダンス
2週目 上代・中古文学史
3週目 『源氏物語』の文学史的位置
4週目 天皇制と後宮
5週目 桐壷巻読解①（光源氏誕生）＋　第１回試験
6週目 桐壷巻読解②（桐壷更衣の死）
7週目 平安貴族の結婚
8週目 帚木巻読解
9週目 もののけ
10週目 夕顔巻読解
11週目 垣間見
12週目 若紫巻読解
13週目 斎宮・斎院・葵祭
14週目 葵巻読解
15週目 まとめ　＋第２回試験
16週目 課題に対するフィードバックを実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を行う。

準備学習(予習・復習)等の内容

次回講義日までに、講義プリントや扱う箇所を予習してから講義に臨む。講義後は、配布された参考資料やプリントを復習し、理解に努める。

成績評価の方法・基準

試験を2回、レポートを1回課す。試験50%、レポート30%、講義へのコミットメントは20%として評価する。なお、出席回数が3分の2に満たない場合は評価の対象としない。

履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

現代語訳はつけるが、古典作品中心なので毎週（電子）辞書を持参すること。

テキスト

・紫式部（著）玉上琢弥（訳注）『源氏物語―付現代語訳 (第1巻)』
(角川ソフィア文庫) 、 864円

参考書

新全集『源氏物語』（小学館）、集成『源氏物語』（新潮社）
必要に応じて適宜Course Power上で紹介する。

更新日付

2019/02/27 03:31